【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成28年2月18日(2016.2.18)

【公表番号】特表2015-503373(P2015-503373A)
【公表日】平成27年2月2日(2015.2.2)
【年通号数】公開・登録公報2015-007
【出願番号】特願2014-549359(P2014-549359)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｌ　27/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｌ　27/00　　Ｓ

【手続補正書】
【提出日】平成27年12月21日(2015.12.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
各位置で互いに接着的に結合し、０．５ｍｌ／ｍｉｎ＊ｃｍ^{2}から１．５ｍｌ／ｍｉｎ＊ｃｍ^{2}の間の空気の浸透性を有する繊維を備えるインプラントの構造体であって、
前記構造体の浸透性を０．２ｍｌ／ｍｉｎ＊ｃｍ^{2}未満まで減少させる、少なくとも片面側の被覆を有することを特徴とするインプラントの構造体。
【請求項２】
前記繊維はポリウレタンで作られることを特徴とする、請求項１に記載のインプラントの構造体。
【請求項３】
前記構造体はフリース材料であることを特徴とする、請求項１又は２に記載のインプラントの構造体。
【請求項４】
前記繊維は円筒を形成するように接着的に結合され、且つ前記被覆は前記円筒の内側の表面に処置されることを特徴とする、請求項１から３のいずれか１項に記載のインプラントの構造体。
【請求項５】
前記被覆はゼラチンを含むことを特徴とする、請求項１から４のいずれか１項に記載のインプラントの構造体。
【請求項６】
前記被覆はコラーゲンを含むことを特徴とする、請求項１から５のいずれか１項に記載のインプラントの構造体。
【請求項７】
前記被覆はフィブリンを含むことを特徴とする、請求項１から６のいずれか１項に記載のインプラントの構造体。
【請求項８】
前記被覆は医薬品を含むことを特徴とする、請求項１から７のいずれか１項に記載のインプラントの構造体。
【請求項９】
前記被覆は、１日から３０日後、及び特に２日から１４日後に、最初の容量の最大１０

％まで再吸収されることを特徴とする、請求項１から８のいずれか１項に記載のインプラントの構造体。